

心理・文化学科では、10月29日（土）に、北九州市立文学館の学芸員・中西由紀子先生をお招きし、大学祭公開講座「文学のまち・北九州市の魅力を知ろう」を開催しました。

この公開講座は、大学祭の学科企画のひとつで、令和5年度から設置された文化文芸コースとしては初めての企画です。在学生はもちろん、卒業生や地域の方々も足を運んでくださいました。

文化文芸コースでは、文学や書道、ポップカルチャーなど、古典から現代文化まで幅広く学ぶことができます。実は、九州女子大学のある北九州市は、森鷗外、林芙美子、松本清張、平野啓一郎、リリー・フランキー、松尾スズキなど、明治から現代の文壇で活躍する多くの作家とゆかりが深い土地です。

今回の公開講座では、北九州市立文学館の学芸員でいらっしゃる中西先生のお話をうかがい、九女で文化文芸を学ぶことの意義や楽しさを再認識しました。

講座の終盤の質疑応答のコーナーでは、在学生や職員から意欲的な質問が寄せられ、参加者の皆さんの文学に対する愛が伝わってくるやりとりが交わされました。

また、参加者アンケートには、「多くの作家と北九州市との関係を知ることができて良かった」「北九州市立文学館に行ってみたくなった」など多くの声が寄せられました。

皆さんもぜひ、自分が暮らす町の中にある「文学」を発見する喜びを味わってみてくださいね！

